

建築と社會 第七輯第六號目次

口 繪 株式會社三十四銀行德島支店

◆卷頭辭「何以處群」

◆建築家の社會的地位

日本建築協會 副會頭 工學博士 片岡 安 二

◆國家的大試鍊の後に於て 鈴置 良一 九

◆建築の自己震動 無漏 林樹 四
——地震と耐震建築(三)——

◆混凝土施工能率の鐵筋 八木幸次郎 一九

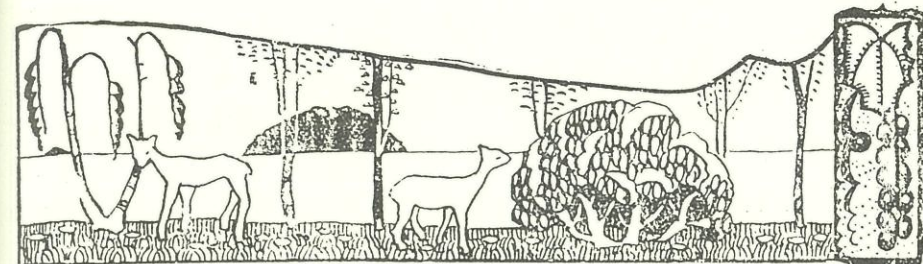
◆混凝土結構の強度に及(其二) ぼす影響 川村種三郎 三五

◆カリフォルニアの南 歐風住宅の内部裝飾(本年三月號より續く) 川村種三郎 三五

住宅

研究

説論



都市

◆「國際市」の實現 太田 寛吾 三

◆テベス東岸の一日 工學博士 天沼 俊一 三六

——續埃及遊記(五)——

春陽會審査員

◆畫界に於ける新傾向(下) 齋藤 與里 四〇

◆建築家と活動寫眞館 池田谷久吉 四七

◆ペンの影を追ふて 水鳥與志雄 五三

◆春の野から 偏 心 圓 五五

——Mの言ひ草(續)——

◆スカイライト かうそん 五九

◆煙の都より湖の國え 郊 邨 六三

◆大日本建築協會五月中記事 六九

漫録

報會

